

渋沢栄一 略年譜 ②

和暦	西暦	年齢	月	内 容
明治19	1886	46歳	4	深川福住町の住宅に寄寓する書生らを集め、竜門社を組織し、『竜門雑誌』を発行する。
明治20	1887	47歳	2	高峰讓吉に協力して、東京人造肥料会社を設立（現・日産化学株式会社）。
明治21	1888	48歳	12	6日、日本橋区兜町（現・中央区日本橋兜町）へ転居する。以後、深川福住町の住宅は長男篤二の住まいとなる。
明治22	1889	49歳	11	深川区会議員に当選し、区会議長を務める。
明治23	1890	50歳	9	貴族院議員に任ぜられる（同24年に辞任）。
明治24	1891	51歳		深川区の学務委員に選出される。
明治30	1897	57歳	3	澁澤倉庫部を設立（現・澁澤倉庫株式会社）。
明治33	1900	60歳	5	男爵を授けられる。
明治34	1901	61歳	5	飛鳥山の住宅を本邸とする。
				『徳川慶喜公伝』編纂の事務所を深川福住町の住宅に置く。
明治35	1902	62歳	5	兼子夫人同伴で欧米を視察。セオドア・ルーズベルト大統領と会見。9月、帰国。
			12	深川区教育会の会長に就任する。
明治37	1904	64歳	10	深川区会議員および区会議長の職を辞し、区会より感謝状を贈られる。
明治41	1908	68歳	9	深川福住町の住宅を芝区三田綱町（現・港区三田2）へ移築。
明治42	1909	69歳	6	多くの企業および諸団体の役職を辞任。
			8	渡米実業団団長として渡米。12月、帰国。
大正4	1915	75歳	10	パナマ太平洋万国大博覧会視察を兼ねて渡米。ウィルソン大統領と会見。翌年1月、帰国。
大正5	1916	76歳	7	第一銀行頭取を辞任し、実業界から引退。
大正7	1918	78歳	1	『徳川慶喜公伝』刊行。
大正9	1920	80歳	9	子爵を授けられる。
大正10	1921	81歳	10	ワシントン軍縮会議視察のため渡米。ハーディング大統領と会見。翌年1月、帰国。
大正12	1923	83歳	9	帝都復興審議会委員に就任する。
昭和4	1929	89歳	5	楽翁公遺徳顕彰会が設立され、会長に就任する。
			6	深川区霊巖寺において楽翁公百年忌墓前祭が行われ、挨拶を行う。
昭和6	1931	91歳	6	清澄庭園大正記念館で開催された楽翁公記念講演会に出席する。
			11	11日、死去。

深川在住

旧渋沢家住宅 深川福住町時代

※年齢は満年齢